



出水の紅甘夏

べに
あま
なつ

鮮やかな紅色で、とつてもジューシー。 爽やかな甘酸っぱさと香りが、 気分をリフレッシュさせます。

鹿

児島県の北部に位置する阿久根市、出水市、長島町では、海に近い温暖な気候のもと、紅甘夏の栽培が盛んに行われている。

紅甘夏は、夏ミカンの品種である甘夏の中でも、その名のとおり紅の濃い果皮と果肉で、ジューシーで濃厚な味わいの特徴。

平成5年にかごしまブランド産地に指定され、185戸が栽培した約2500トンが2月から5月下旬にかけて東京、大阪などに向け出荷されている。

「夏場に適度に雨が降ったので、おいしい大玉がたくさんできました」と長島町の栽培農家・濱畑孝^{はまはた たかし}さんは嬉しそう。



「紅甘夏は、甘さと爽やかな酸味の絶妙なバランスが魅力です。初夏まで食べることのできる柑橘類なので、おいしい時期にぜひ一度食べてみていただけたら」と太鼓判を押し。

今年1月には、かごしまの農林水産物認証制度の認証も取得した。「適切な時期にしっかりとした管理を行い、高品質でおいしいものができるよう各生産者が一生懸命に育てています。今後は、認知度を高めて、県内外への販売をさらに広げていきたいですね」と濱畑さん。

ビタミンCたっぷりの紅甘夏は、疲労回復や、かぜの予防・回復にも効果的。薄皮ごと食べると毛細血管を強くするルチンや食物繊維も取ることができ。

食べてみると、フレッシュな甘酸っぱさと香りが口いっぱいに広がり、すっきりしたみずみずしさがとつてもおいしい。そのまま食べるだけでなく、ジュースにしたりヨーグルトやサラダなどに加えてもおもしろい。

甘夏とはまたひと味違う濃厚なおいしさの紅甘夏。そのおいしさをぜひ一度ご賞味ください。

紅甘夏のふるさとを訪ねて



行人岳

行人岳は長島の山岳信仰の聖地で、江戸時代は修験道の場でした。頂上には蔵王権現や不動尊がまつられています。ここからの眺望は大変すばらしく、天草の島々や出水、水俣、遠くは島原(雲仙普賢岳)や霧島(韓国岳)まで見渡せます。毎年2月中旬から3月にかけて、ツルの北帰行が観察でき、多くの見物客が訪れます。

☎長島町水産商工課
0996-86-1111



出水麓武家屋敷群

基盤の目のように整然と区切られた道路。玉石を積んだ風格のある武家屋敷のたたずまい。風雪を耐えた生け垣や武家門に、武の国薩摩の威厳が漂います。屋敷内に入ると、りりしい武士があらわれそうなきめきを覚え、喧騒もどこか遠くへ押しやったように、いにしえが息づきます。

☎出水市観光交流課
0996-63-4061



阿久根大島公園

阿久根市街地から船で約10分、東シナ海の沖合い約2kmに浮かぶ美しい老松に覆われた周囲4kmの島で、約130頭の野生の鹿が生息しています。県立自然公園にも指定されており、環境省選定「快水浴場100選」や「日本の名松100選」にも選ばれ、全国的にもきれいな海水浴場・キャンプ場も整備されています。また、釣りの名所としても名高く自然が数多く残る風光明媚な島で、特に東シナ海に沈む夕日は絶景といえます。

☎阿久根市水産商工観光課
0996-73-1211



阿久根市
出水市
長島町 編